あかはな

赤鼻のトナカイ

1

サンタさんは、
トナカイのむらに
クリスマスイブに ソリを
あんないしてもらう
トナカイを
えらびにきます。
えらばれる トナカイは
みんなの あこがれのまと。

2

まっかな おはなの トナカイ
ポスも、サンタさんの
やくに たちたいけれど、
むりだと あきらめていました。
それでも サンタさんに
ほめられた はみがきだけは
きちんと しょくごに
していました。

3

そんなポスは、
そのまっかな おはなの ために
いつも みんなに わらわれて
ないてばかりいました。

4

ある きりのふかい
クリスマスイブのひ、
あきらめて ツリーの かざりつけを
している ポスの もとに
サンタさんが やってきました。

5

そして、
こういいました。

「あかはなのポスくん、
こんやは とても
きりが ふかいから
きみの
そのピカピカの は と
あかくひかるはなで、
わたしの ソリの
まえを てらして
あんないして
くれないかい?」

6

ポスは
びっくりしました。

だって のは
ポスは はなの
あかくひかる はなが
ないと だめなのです。

7

ポスは いつの
ばんにか
サンタさんの
そばを はなれて
あちこちを
さがしまわりました。

8

ポスは いつも
ひとりぼっちで
しょんぼりしていました。
でも、ポスは
はなが
ないと だめなのです。
ポスは
はなが
ないと だめなのです。

http://www.mi21.net